

## 特別会計

### 簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計は、富根、仁鮎、二ツ井、荷上場地区を対象に給水事業を行うための特別会計である。

#### 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
23年度	195,339,000	194,204,503	194,202,503	2,000	99.4	99.4
22年度	59,823,000	53,911,353	53,909,353	2,000	90.1	90.1
比較増減	135,516,000	140,293,150	140,293,150	0	9.3	9.3
増減率	226.5	260.2	260.2	0.0	—	—

当年度の決算額は、歳入194,204,503円、歳出194,202,503円、歳入歳出差引額は2,000円となっている。前年度と比較して歳入、歳出それぞれ140,293,150円(260.2%)の増となっている。これは、二ツ井・荷上場地区簡易水道整備事業費の増によるものである。

#### 2 予算の執行状況

##### ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
使用料及び手数料	20,653,000	20,544,151	20,544,151	0	0	100.0
国庫支出金	44,056,000	44,056,000	44,056,000	0	0	100.0
財産収入	1,000	1,495	1,495	0	0	100.0
繰入金	25,327,000	24,516,027	24,516,027	0	0	100.0
繰越金	2,000	2,000	2,000	0	0	100.0
諸収入	1,000,000	984,830	984,830	0	0	100.0
市債	104,300,000	104,100,000	104,100,000	0	0	100.0
歳入合計	195,339,000	194,204,503	194,204,503	0	0	100.0

使用料及び手数料の収入済額は20,544,151円で、給水使用料等である。

前年度と比較して、国庫支出金は39,746,000円(922.2%)増の44,056,000円、市債は95,500,000円(1,110.5%)増の104,100,000円で、いずれも二ツ井・荷上場地区簡易水道整備事業に伴うものである。

繰入金の収入済額は24,516,027円で、一般会計繰入金である。

##### ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
簡易水道費	185,852,000	184,865,598	0	986,402	99.5
公債費	9,487,000	9,336,905	0	150,095	98.4
歳出合計	195,339,000	194,202,503	0	1,136,497	99.4

簡易水道費の支出済額は184,865,598円で、富根、仁鮎地区簡易水道指定管理料等の営業費が21,160,946円、二ツ井・荷上場地区簡易水道建設工事等の整備事業費が163,704,652円となっている。

公債費の決算額は9,336,905円で、当年度から元金償還が始まったことにより、前年度と比較して4,518,905円(93.8%)の増となっている。

予算流用は1件で、58,235円であった。

## 下水道事業特別会計

下水道事業特別会計は、事業認可区域を対象に下水道事業を行うための特別会計である。

地方公営企業法適用に伴う企業会計への移行により、平成24年3月31日をもって本特別会計は廃止され、当年度の歳入歳出差引額97,982,760円は、企業会計へ引き継がれた。

### 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
23年度	2,393,982,870	2,357,905,057	2,259,922,297	97,982,760	98.5	94.4
22年度	2,476,353,000	2,237,226,147	2,224,255,045	12,971,102	90.3	89.8
比較増減	-82,370,130	120,678,910	35,667,252	85,011,658	8.2	4.6
増減率	-3.3	5.4	1.6	655.4	—	—

当年度の決算額は、歳入2,357,905,057円、歳出2,259,922,297円、歳入歳出差引額は97,982,760円となっている。前年度と比較して歳入が120,678,910円(5.4%)、歳出が35,667,252円(1.6%)それぞれ増となっている。

### 2 予算の執行状況

#### ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
分担金及び負担金	22,600,000	32,290,170	25,374,020	1,020,780	5,895,370	81.1
使用料及び手数料	298,005,000	333,607,835	297,245,777	369,594	35,992,464	89.2
国庫支出金	490,536,000	490,536,940	490,536,940	0	0	100.0
繰入金	611,825,000	611,825,000	611,825,000	0	0	100.0
繰越金	12,970,870	12,971,102	12,971,102	0	0	100.0
諸収入	17,946,000	17,952,218	17,952,218	0	0	100.0
市債	940,100,000	902,000,000	902,000,000	0	0	100.0
歳入合計	2,393,982,870	2,401,183,265	2,357,905,057	1,390,374	41,887,834	98.3

分担金及び負担金の収入済額は25,374,020円で、受益者負担金である。受益者負担金の不納欠損額は1,020,780円で、前年度と比較して481,180円(32.0%)の減、収入未済額は5,895,370円で、前年度と比較して1,201,770円(16.9%)の減となった。

使用料及び手数料の収入済額は297,245,777円で、下水道使用料等である。前年度と比較して37,143,596円(11.1%)の減で、収入未済額は30,874,346円(603.2%)増の35,992,464円とそれぞれ大きな増減となっている。これは、企業会計への移行に伴い3月末日で打切決算となったことにより、例年であれば出納整理期間(4~5月)に収入となる分が、本特別会計への収入にならなかったためである。(この分は、企業会計の収入として計上されている。)

国庫支出金の収入済額は490,536,940円で、社会資本整備総合交付金である。

繰入金の収入済額は一般会計繰入金611,825,000円で、前年度と比較して82,825,000円(15.7%)の増となっている。

## ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総 務 費	1,518,080,870	1,384,191,288	72,957,000	60,932,582	91.2
公 債 費	875,902,000	875,731,009	0	170,991	100.0
歳 出 合 計	2,393,982,870	2,259,922,297	72,957,000	61,103,573	94.4

総務費の支出済額は1,384,191,288円で、一般管理費のほか、終末処理場管理費、管渠及び施設整備工事費等の下水道事業費である。不用額が前年度と比較して53,903,192円(766.8%)増の60,932,582円となっているが、これは、歳入と同様、企業会計への移行により、例年であれば出納整理期間(4~5月)に支払われる分が、本特別会計での支払いにならなかったためである。(この分は、企業会計から支払われている。)

翌年度繰越額72,957,000円は、繰越明許とした単独事業68,400,000円のほか、事故繰越しとした管渠維持費4,557,000円である。  
予算流用は13件で、18,578,621円であった。

下水道事業における建設改良費と市債の借入額及び公債費の推移は次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
建設改良費	562,900	893,500	1,310,600	1,059,116	1,090,698
市債借入額	1,599,000	876,200	1,107,900	863,100	902,000
公債費(元金)	1,565,681	664,964	689,642	636,830	667,424
市債残高	9,281,582	9,492,818	9,911,076	10,137,346	10,371,922

※市債借入額及び公債費(元金)には、それぞれ借換債及びそれに伴う償還金が含まれる。

## 農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業特別会計は、事業認可区域を対象に農業集落排水事業を行うための特別会計である。

## 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
23年度	14,132,000	14,023,228	13,718,002	305,226	99.2	97.1
22年度	13,568,000	13,591,425	13,489,705	101,720	100.2	99.4
比較増減	564,000	431,803	228,297	203,506	-1.0	-2.3
増減率	4.2	3.2	1.7	200.1	—	—

当年度の決算額は、歳入14,023,228円、歳出13,718,002円、歳入歳出差引額は305,226円となっている。前年度と比較して歳入が431,803円(3.2%)、歳出が228,297円(1.7%)それぞれ増となっている。

## 2 予算の執行状況

### ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
使用料及び手数料	3,389,000	3,444,508	3,444,508	0	0	100.0
県 支 出 金	500,000	336,000	336,000	0	0	100.0
繰 入 金	10,141,000	10,141,000	10,141,000	0	0	100.0
繰 越 金	101,000	101,720	101,720	0	0	100.0
諸 収 入	1,000	0	0	0	0	—
歳 入 合 計	14,132,000	14,023,228	14,023,228	0	0	100.0

使用料及び手数料の収入済額は3,444,508円で、農業集落排水使用料等である。

繰入金の収入済額は10,141,000円で、一般会計繰入金である。

### ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
農業集落排水費	6,170,000	5,756,466	0	413,534	93.3
公 債 費	7,962,000	7,961,536	0	464	100.0
歳 出 合 計	14,132,000	13,718,002	0	413,998	97.1

農業集落排水費の支出済額は5,756,466円で、処理場等維持管理業務委託料等である。

公債費の支出済額は7,961,536円で、前年度と同額である。

予算流用は2件で、51,181円であった。

## 浄化槽整備事業特別会計

浄化槽整備事業特別会計は、二ツ井地域内を対象に浄化槽整備事業を行うための特別会計である。

### 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
23年度	139,170,000	138,303,536	138,110,230	193,306	99.4	99.2
22年度	140,221,000	139,817,303	139,507,482	309,821	99.7	99.5
比較増減	-1,051,000	-1,513,767	-1,397,252	-116,515	-0.3	-0.3
増減率	-0.7	-1.1	-1.0	-37.6	—	—

当年度の決算額は、歳入138,303,536円、歳出138,110,230円、歳入歳出差引額は193,306円となっている。前年度と比較して歳入が1,513,767円(1.1%)、歳出が1,397,252円(1.0%)それぞれ減となっている。これは、公債費等の減によるものである。

## 2 予算の執行状況

### ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
分担金及び負担金	5,825,000	5,825,695	5,825,695	0	0	100.0
使用料及び手数料	49,673,000	51,146,990	50,101,020	171,780	874,190	98.3
国庫支出金	21,362,000	21,362,000	21,362,000	0	0	100.0
繰入金	53,099,000	51,805,000	51,805,000	0	0	100.0
繰越金	309,000	309,821	309,821	0	0	100.0
諸収入	2,000	0	0	0	0	—
市債	8,900,000	8,900,000	8,900,000	0	0	100.0
歳入合計	139,170,000	139,349,506	138,303,536	171,780	874,190	99.4

分担金及び負担金の収入済額は5,825,695円で、浄化槽設置事業費分担金である。  
 使用料及び手数料の収入済額は浄化槽使用料等の50,101,020円で、前年度と比較して1,579,030円(3.3%)の増となっている。また、不納欠損額は171,780円で、前年度と比較して174,510円(50.4%)の減、収入未済額は874,190円で、前年度と比較して223,265円(20.3%)の減となっている。

国庫支出金の収入済額は21,362,000円で、循環型社会形成推進交付金である。

繰入金の収入済額は51,805,000円で、一般会計繰入金である。

市債の収入済額は8,900,000円で、特定地域生活排水処理事業債となっている。

### ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
事業費	113,193,000	112,347,786	0	845,214	99.3
公債費	25,977,000	25,762,444	0	214,556	99.2
歳出合計	139,170,000	138,110,230	0	1,059,770	99.2

事業費の支出済額は112,347,786円で、合併浄化槽清掃維持管理業務委託料、合併処理浄化槽設置工事費等である。

公債費の支出済額は25,762,444円で、前年度と比較して2,577,708円(9.1%)の減となっている。

予算流用は1件で、1,503円であった。

## 浅内財産区特別会計

浅内財産区特別会計は、浅内財産区の財産管理を行うための特別会計である。

### 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
23年度	4,436,000	4,463,176	4,028,344	434,832	100.6	90.8
22年度	1,857,000	2,062,840	1,185,009	877,831	111.1	63.8
比較増減	2,579,000	2,400,336	2,843,335	-442,999	-10.5	27.0
増減率	138.9	116.4	239.9	-50.5	—	—

当年度の決算額は、歳入4,463,176円、歳出4,028,344円、歳入歳出差引額は434,832円となっている。前年度と比較して歳入が2,400,336円(116.4%)、歳出が2,843,335円(239.9%)それぞれ増となっている。これは、財産区財産(山林等)購入費等の増によるものである。

### 2 予算の執行状況

#### ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
財産収入	1,406,000	1,432,345	1,432,345	0	0	100.0
繰入金	2,153,000	2,153,000	2,153,000	0	0	100.0
繰越金	877,000	877,831	877,831	0	0	100.0
歳入合計	4,436,000	4,463,176	4,463,176	0	0	100.0

財産収入の収入済額は1,432,345円で、土地貸付収入等である。

繰入金の収入済額は2,153,000円で、財産区基金繰入金である。

前年度は、財産区基金繰入金がなかったことから、歳入全体では前年度と比較して2,400,336円(116.4%)の増となっている。

#### ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管理会費	227,000	135,666	0	91,334	59.8
総務費	4,209,000	3,892,678	0	316,322	92.5
歳出合計	4,436,000	4,028,344	0	407,656	90.8

管理会費の支出済額は135,666円で、財産区管理委員報酬等である。

総務費の支出済額は3,892,678円で、一般管理費のほか、財産管理費である。財産区財産(山林等)購入費等の増により、前年度と比較して2,895,369円(290.3%)の増となっている。

## 常盤財産区特別会計

常盤財産区特別会計は、常盤財産区の財産管理を行うための特別会計である。

### 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
23年度	3,695,000	3,700,867	3,406,884	293,983	100.2	92.2
22年度	12,363,000	15,003,260	11,779,994	3,223,266	121.4	95.3
比較増減	-8,668,000	-11,302,393	-8,373,110	-2,929,283	-21.2	-3.1
増減率	-70.1	-75.3	-71.1	-90.9	—	—

当年度の決算額は、歳入3,700,867円、歳出3,406,884円、歳入歳出差引額は293,983円となっている。前年度と比較して歳入が11,302,393円(75.3%)、歳出が8,373,110円(71.1%)それぞれ減となっている。これは、除伐作業委託料等の減によるものである。

### 2 予算の執行状況

#### ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
県支出金	285,000	285,600	285,600	0	0	100.0
財産収入	187,000	192,001	192,001	0	0	100.0
繰越金	3,223,000	3,223,266	3,223,266	0	0	100.0
歳入合計	3,695,000	3,700,867	3,700,867	0	0	100.0

県支出金の収入済額は285,600円で、森林環境保全整備事業費補助金である。除伐作業委託料等の減に伴い、前年度と比較して4,008,870円(93.3%)の減となっている。

財産収入の収入済額は192,001円で、分収林売払収入等である。前年度と比較して2,597,081円(93.1%)の減となっている。

繰越金の収入済額は3,223,266円で、前年度繰越金である。

#### ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管理会費	290,000	280,770	0	9,230	96.8
総務費	2,130,000	1,851,114	0	278,886	86.9
積立金	1,275,000	1,275,000	0	0	100.0
歳出合計	3,695,000	3,406,884	0	288,116	92.2

管理会費の支出済額は280,770円で、財産区管理委員報酬等である。

総務費の支出済額は1,851,114円で、一般管理費のほか、財産管理費である。除伐作業委託料等の減により、前年度と比較して9,671,435円(83.9%)の減となっている。

## 鶴形財産区特別会計

鶴形財産区特別会計は、鶴形財産区の財産管理を行うための特別会計である。

### 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
23年度	2,145,000	2,147,147	1,830,205	316,942	100.1	85.3
22年度	1,668,000	1,751,101	659,851	1,091,250	105.0	39.6
比較増減	477,000	396,046	1,170,354	-774,308	-4.9	45.7
増減率	28.6	22.6	177.4	-71.0	—	—

当年度の決算額は、歳入2,147,147円、歳出1,830,205円、歳入歳出差引額は316,942円となっている。前年度と比較して歳入が396,046円(22.6%)、歳出が1,170,354円(177.4%)それぞれ増となっている。これは、財産管理費等の増によるものである。

### 2 予算の執行状況

#### ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
財 産 収 入	127,000	128,897	128,897	0	0	100.0
繰 入 金	927,000	927,000	927,000	0	0	100.0
繰 越 金	1,091,000	1,091,250	1,091,250	0	0	100.0
歳 入 合 計	2,145,000	2,147,147	2,147,147	0	0	100.0

財産収入の収入済額は128,897円で、土地貸付収入である。

繰入金の収入済額は927,000円で、財産区基金繰入金である。

繰越金の収入済額は1,091,250円で、前年度繰越金である。前年度と比較して756,716円(226.2%)の増となっている。

#### ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管 理 会 費	250,000	144,667	0	105,333	57.9
総 務 費	1,895,000	1,685,538	0	209,462	88.9
歳 出 合 計	2,145,000	1,830,205	0	314,795	85.3

管理会費の支出済額は144,667円で、財産区管理委員報酬等である。

総務費の支出済額は1,685,538円で、財産管理費の賃金等である。前年度は現場作業量等が見込みを大きく下回っていたことから、前年度と比較して1,135,034円(206.2%)の増となっている。



## 檜山財産区特別会計

檜山財産区特別会計は、檜山財産区の財産管理を行うための特別会計である。

### 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
23年度	2,415,000	2,490,548	1,948,431	542,117	103.1	80.7
22年度	2,306,000	2,877,811	644,320	2,233,491	124.8	27.9
比較増減	109,000	-387,263	1,304,111	-1,691,374	-21.7	52.8
増減率	4.7	-13.5	202.4	-75.7	—	—

当年度の決算額は、歳入2,490,548円、歳出1,948,431円、歳入歳出差引額は542,117円となっている。前年度と比較して歳入が387,263円（13.5%）の減、歳出が1,304,111円（202.4%）の増となっている。

### 2 予算の執行状況

#### ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
県支出金	169,000	169,932	169,932	0	0	100.0
財産収入	13,000	87,125	87,125	0	0	100.0
繰越金	2,233,000	2,233,491	2,233,491	0	0	100.0
歳入合計	2,415,000	2,490,548	2,490,548	0	0	100.0

県支出金の収入済額は169,932円で、これは森林環境保全整備事業費補助金である。前年度と比較して614,177円（78.3%）の減となっている。

財産収入の収入済額は87,125円で、土地貸付収入等である。

繰越金の収入済額は2,233,491円で、前年度と比較して1,517,562円（212.0%）の増となっている。

前年度は、財産区基金繰入金1,343,000円があったが、当年度で繰入金はなかったこと等により、歳入全体では前年度と比較して387,263円（13.5%）の減となっている。

#### ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管理会費	290,000	155,370	0	134,630	53.6
総務費	1,537,000	1,205,061	0	331,939	78.4
積立金	588,000	588,000	0	0	100.0
歳出合計	2,415,000	1,948,431	0	466,569	80.7

管理会費の支出済額は155,370円で、財産区管理委員報酬等である。

総務費の支出済額は1,205,061円で、財産管理費の賃金等である。前年度は現場作業量等が見込みを大きく下回ったことから、前年度と比較して744,086円（161.4%）の増となっている。

積立金の支出済額は588,000円で、財産区基金積立金である。前年度で積立金はなかったことから、前年度と比較して同額の増となっている。